

## 平成24年度第1回長崎県後期高齢者医療広域連合懇話会 開催結果概要

- 1 開催日時 平成24年7月13日（金）午後1時3分から午後3時6分まで
- 2 開催場所 長崎市栄町4番9号 長崎県市町村会館 4階 第1会議室
- 3 出席委員 9名  
貞森会長、庄野副会長、徳永委員、鴨川委員、相良委員、久保委員、田川委員、田代委員、井手委員
- 4 傍聴者 なし

### 5 会議の概要

#### (1) 説明事項

- ア 後期高齢者医療制度について
- イ 広報について
- ウ 保健事業等について
- エ あんま・マッサージの療養費適正化の取り組みについて
- オ 平成24年度の保険料賦課について
- カ 被保険者証の一斉更新について
- キ 保険料の収納対策について
- ク 健康ながさき！がんばらんば共同宣言について
- ケ 肺炎球菌ワクチンの予防接種助成事業について

#### (2) 意見交換

- ア 後期高齢者医療制度について

【委員】 新聞紙面に後期高齢者医療制度が取り上げられ、市民の関心も高まっているが、広域連合としてはどのように考えているか。

【事務局】 全国の広域連合が組織している全国後期高齢者医療広域連合協議会で、被保険者が安心して適切な医療が受けられる制度の確立を一刻も早く図るよう国に対して、年に2回要望を行っている。また、現行制度が継続される間は、広域連合の安定的な運営に努めることが最も重要な責務であると認識している。

- イ 広報について

【委員】 市町の広報誌に掲載してあるが、関心がいまいちのようだ。

【委員】 封筒に健康診査受診勧奨の文言を印字したりして工夫はされているが、地域の老人会など様々な機会に周知を徹底するなどして、より一層の関心を高めてほしい。

#### ウ 保健事業等について

- 【委員】 健康診査は1次予防、病院受診は2次予防というように、意味合いが異なる。健康診査の本当の意義を理解してほしい。
- 【委員】 健康診査の目標受診率は13%とあるが、どういう算定基準なのか。
- 【事務局】 老人保健制度のもと行われていた健康診査の受診率が約13%であったことから、後期高齢者医療制度の健康診査も13%程度を目標受診率に設定した。
- 【委員】 健康診査の結果は、各市町でも活用できるようになっているのか。
- 【事務局】 健康診査の結果は、データ化しており、分析等も一定できている。できるだけ市町にデータを還元し活用してもらうことにしているが、まだ十分でない部分もある。
- 【委員】 病院で治療を受けていても、健康診査を受診する必要性があるということをもっとPRすれば、受診率向上につながるのではないかと。
- 【委員】 健康診査の結果データと、病院での治療データを突き合わせて指導していくことができれば、よりよい指導ができるのではないかと。将来的に推進してほしい。
- 【委員】 はり、きゅうというのは、病気を治すものなのか。
- 【事務局】 はりは、健康保持増進に効果があるのではないかとということで助成事業をしている。
- 【委員】 はり、きゅう助成事業の助成の状況はどうか。
- 【事務局】 平成20、21年度は増加傾向にあったが、平成22年度から、保険適用と助成適用の施術を同日に行うことは不可としたため、減少傾向となった。
- 【委員】 口腔ケアについては、今後とも健康増進に役立つということをもっとPRして、推進してほしい。
- 【委員】 電子カルテの普及が進めば重複投与の抑制になると思うが、普及するまでの間の対策はあるのか。
- 【委員】 お薬手帳の活用で重複投与や重複多受診の抑制につながるのではないかと。
- 【委員】 ジェネリック医薬品の推進状況も長崎県は全国的平均よりも上回っている状態であり、今後も推進していきたい。

#### エ あんま・マッサージの療養費適正化の取り組みについて

- 【委員】 あんま・マッサージの往療が本当に必要かどうかを確認するうえでも、同意書での確認は必要だと思う。

#### ケ 肺炎球菌ワクチンの予防接種助成事業について

- 【委員】 肺炎で亡くなる人は、年間2万人、死因の第4位と言われている。しかし、肺炎球菌ワクチンに関してはアレルギー反応を起こす人もいますので、もう少し検討をお願いしたい。